

# まち&街

NPOニュース No.11  
2023年6月・7月



発行：NPO法人 鹿島田・新川崎まちづくりの会

理事長：大野彰 連絡先：佐藤好行 080-1225-6411

## 南武線高架事業で

## 立ち退き不安の声、川崎市と話し合い

南武線高架は2023年度中の事業計画決定を目指して進められていますが、地権者は約570名にもなります。私たちNPOに地権者がおり、5月11日に川崎市（建設緑政局）に不安や疑問の声を届け、話し合いの場を持ちました。



### 【地権者の声】

- ①一部の土地が対象となった場合、その部分だけの補償か？
- ②土地評価基準は路線価なのか実勢価格なのか、基準は？
- ③建築年数など建物に対する評価基準は？
- ④土地・建物の評価だけでなく、移転を余儀なくされる補償が必要。
- ⑤代替地が無く民間業者への紹介だけでは不安、代替地を提供できるよう対応して欲しい。
- ⑥いつまでに移転しなければならないのか見通しが無いので家の修復やガス器具などの補修計画が立たない。移転時期について個別に説明をすべき。

## 公共用地課長から損失補償基準など説明

一部の土地だけが対象となった場合、残りの土地について①建物の再建築に係る費用等を補償②隣の人に売るケース等があり、それらができない狭小の土地が残る場合は市が買取るケースもあるとのこと。市は「代替地は無いが代替地提供者が出れば紹介する、移転先を探す費用は考慮する」と言いますが、約570名の地権者「誰ひとり取り残されない」、丁寧な対応が必要です。

### 街のつづやき

鹿島田の府中県道沿いに流れる二ヶ領用水はカモ達が気持ち良さそうに泳ぎ、子供達も川に入りザリガニなどを捜して楽しそうに遊んでいるのが見られます。また春には川沿いの桜が人々を和ませてくれます。二ヶ領用水は多摩川を源流として農業用水として徳川家康が造らせたと言います。農業用水としての役目を終えた後も川崎の工業地帯に工業用水として利用された。400年の歴史ある二ヶ領用水路の景観を利用して何か活用できないだろうか？ 例えば橋のような物を何ヶ所か造り椅子などを置いて高齢者達が買い物時や散歩のときに休憩出来る場所をつくったらどうだろうか、ふと考えるこの頃です。 鹿島田在住 安部鬼子次

地元の文化行事です 一気軽にご参加下さい一



## 7/22 コカリナ演奏と まちづくり講演会

日時：7月22日(土) 午後2時～4時

場所：新川崎・鹿島田駅周辺整備事務所

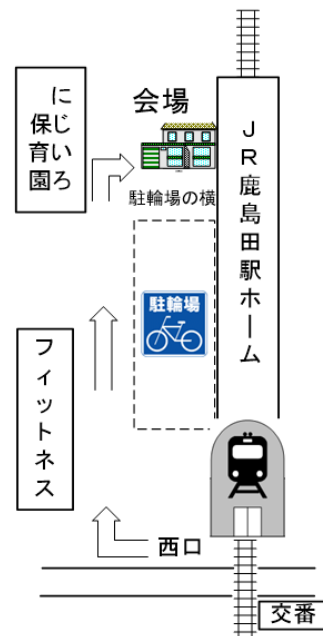
(鹿島田駅下りホーム脇、徒歩約50メートル)

参加費：500円(当日受付、高校生以下は無料)

- ①コカリナデュオ うぐいす(野舘けい子・越智由美子)
- ②南武線開かずの踏切解消、報告と意見交流
- ③まちづくり講演会「人間の顔をしたまち」

今年のテーマ「誰一人、とり残されないまちづくり」

講師：池上洋通 NPO法人多摩住民自治研究所理事



### コカリナ

こんにちは、コカリナデュオうぐいすです。結成して12年になります。コカリナは東ヨーロッパのハンガリーで生まれました。クルミ、杉、松、カエデなど身近な木で作られ、木の素朴な音色がします。また紫檀、黒檀、グアラディアなど硬い木は張りのいい音を奏でます。どうぞ木の笛コカリナの音色をお楽しみ下さい。

南武線高架計画で立ち退き対象になっている地権者は約570名もいます。事業が決定すれば5年で用地取得をする計画ですが、誰ひとり取り残されない進め方が求められます。「まちをつくる」とはどういうことか、音楽を楽しむ時間を共有しながら一緒に考えてみませんか。皆様のご参加をお待ちしています。



--- 2023年度かわさき市民公益活動助成金事業 ---